

2012年度大学入試センター試験 解説〈数学ⅡB〉

第1問

〔1〕

$$2\log_a(8-x) > \log_a(x-2) \quad \cdots\cdots\textcircled{1}$$

$$(a > 0, a \neq 1)$$

①において、真数は正であるから、

$$8-x > 0 \quad \text{かつ} \quad x-2 > 0$$

すなわち、

$$\underline{2} < x < \underline{8} \quad \cdots\cdots\textcircled{3}$$

……ア, イ

が成り立つ。

ここで、不等式①は、

$$\log_a(8-x)^2 > \log_a(x-2)$$

と変形できるから、 $a < 1$ のとき、

$$(8-x)^2 < x-2$$

すなわち、

$$x^2 - \underline{17}x + \underline{66} \leq 0 \quad \cdots\cdots\textcircled{2}$$

……ウエ, オカ

$$(\cdots\cdots\textcircled{0})$$

……キ

となる。

②を解くと、

$$(x-6)(x-11) < 0$$

より、

$$6 < x < 11 \quad \cdots\cdots\textcircled{4}$$

である。

したがって、真数が正であることと②、すなわち、③、④から、 $a < 1$ のとき、不等式①を満たす x のとり得る値の範囲は、

$$\underline{6} < x < \underline{8}$$

……ク, ケ

である。

また、 $a > 1$ のとき、不等式①は、

$$(8-x)^2 > x-2$$

すなわち、

$$(x-6)(x-11) > 0$$

となるから、これを解くと、

$$x < 6, 11 < x \quad \cdots\cdots\textcircled{5}$$

である。

よって、③、⑤より、 $a > 1$ のとき、不等式①を満たす x のとり得る値の範囲は、

$$\underline{2} < x < \underline{6}$$

……コ, サ

である。

[2]

$\alpha = \frac{\pi}{6}$ のとき,

$$\cos 2\beta = \sin \frac{\pi}{6} = \frac{1}{2}$$

であり, $0 \leq 2\beta \leq 2\pi$ であるから,

$$2\beta = \frac{\pi}{3}, \frac{5}{3}\pi$$

すなわち, β のとり得る値は,

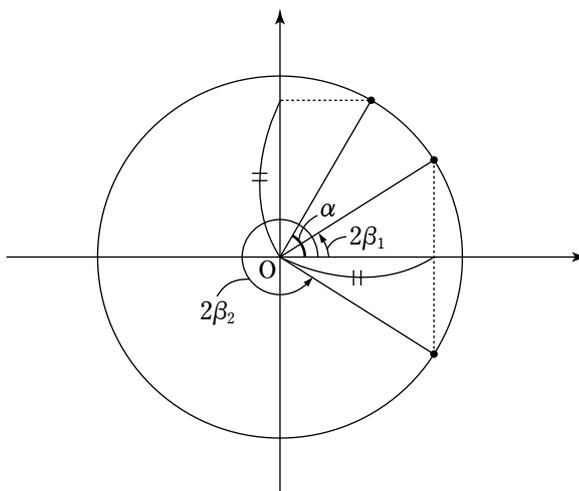
$$\underline{\underline{\frac{\pi}{6}}} \text{ と } \underline{\underline{\frac{5}{6}\pi}}$$

……シ, ス

である。

ここで, $\sin \alpha = \cos 2\beta$ において, 左辺は単位円周上の角 α に対する点の y 座標を表し, 右辺は単位円周上の角 2β に対する点の x 座標を表している。

よって, 単位円周上に, 角 α に対する点を取り, その点の y 座標が角 2β に対する点の x 座標と等しくなる場合を考えればよい。



$0 \leq \alpha < \frac{\pi}{2}$ のときは, 上図より,

$$2\beta_1 = \frac{\pi}{2} - \alpha$$

$$2\beta_2 = 2\pi - 2\beta_1 = 2\pi - \left(\frac{\pi}{2} - \alpha\right) = \frac{3}{2}\pi + \alpha$$

すなわち,

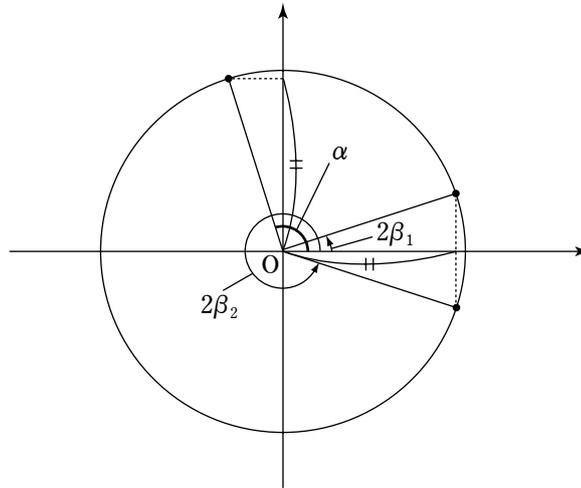
$$\underline{\underline{\beta_1}} = \underline{\underline{\frac{\pi}{4} - \frac{\alpha}{2}}} \quad \text{……①}$$

……セ, ソ

$$\beta_2 = \frac{3}{4}\pi + \frac{\alpha}{2} \quad \dots\dots②$$

……タ

となる。



また、 $\frac{\pi}{2} \leq \alpha \leq \pi$ のときは、上図より、

$$2\beta_1 = \alpha - \frac{\pi}{2}$$

$$2\beta_2 = 2\pi - 2\beta_1 = 2\pi - \left(\alpha - \frac{\pi}{2}\right) = \frac{5}{2}\pi - \alpha$$

すなわち、

$$\beta_1 = -\frac{\pi}{4} + \frac{\alpha}{2} \quad \dots\dots③$$

……チ, ツ

$$\beta_2 = \frac{5}{4}\pi - \frac{\alpha}{2} \quad \dots\dots④$$

……テ

となる。

ここで、 $0 \leq \alpha < \frac{\pi}{2}$ のとき、①, ②より、

$$\begin{aligned} \alpha + \frac{\beta_1}{2} + \frac{\beta_2}{3} &= \alpha + \frac{1}{2}\left(\frac{\pi}{4} - \frac{\alpha}{2}\right) + \frac{1}{3}\left(\frac{3}{4}\pi + \frac{\alpha}{2}\right) \\ &= \frac{11}{12}\alpha + \frac{3}{8}\pi \end{aligned}$$

であり、

$$\frac{3}{8}\pi \leq \frac{11}{12}\alpha + \frac{3}{8}\pi < \frac{11}{12} \cdot \frac{\pi}{2} + \frac{3}{8}\pi = \frac{5}{6}\pi$$

であるから、

$$\frac{3}{8}\pi \leq \alpha + \frac{\beta_1}{2} + \frac{\beta_2}{3} < \frac{5}{6}\pi \quad \dots\dots⑤$$

となる。

また、 $\frac{\pi}{2} \leq \alpha \leq \pi$ のとき、③、④より、

$$\begin{aligned} \alpha + \frac{\beta_1}{2} + \frac{\beta_2}{3} &= \alpha + \frac{1}{2} \left(-\frac{\pi}{4} + \frac{\alpha}{2} \right) + \frac{1}{3} \left(\frac{5}{4}\pi - \frac{\alpha}{2} \right) \\ &= \frac{13}{12}\alpha + \frac{7}{24}\pi \end{aligned}$$

であり、

$$\frac{5}{6}\pi = \frac{13}{12} \cdot \frac{\pi}{2} + \frac{7}{24}\pi \leq \frac{13}{12}\alpha + \frac{7}{24}\pi \leq \frac{13}{12}\pi + \frac{7}{24}\pi = \frac{11}{8}\pi$$

であるから、

$$\frac{5}{6}\pi \leq \alpha + \frac{\beta_1}{2} + \frac{\beta_2}{3} \leq \frac{11}{8}\pi \quad \dots\dots ⑥$$

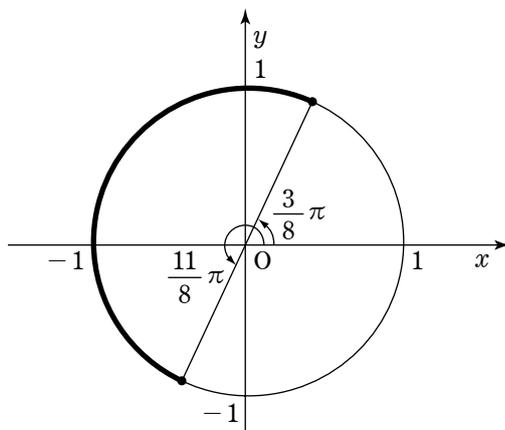
となる。

したがって、⑤、⑥より、 $\alpha + \frac{\beta_1}{2} + \frac{\beta_2}{3}$ のとり得る値の範囲は、

$$\frac{3}{8}\pi \leq \alpha + \frac{\beta_1}{2} + \frac{\beta_2}{3} \leq \frac{11}{8}\pi$$

……ト～ネ

である。



よって、 y が最大となるのは、上図より、

$$\frac{11}{12}\alpha + \frac{3}{8}\pi = \frac{\pi}{2}$$

すなわち、

$$\alpha = \frac{3}{22}\pi$$

……ノ、ハヒ

のときである。

また、このときの y の値は、

$$\frac{1}{2} \quad (\dots\dots ①)$$

……フ

である。

第2問

(1)

$y = x^3$ より, $y' = 3x^2$ であるから, 点 $P(a, a^3)$ における C の接線の方程式は,

$$y - a^3 = 3a^2(x - a)$$

すなわち,

$$y = 3a^2x - 2a^3 \quad \dots\dots③ \quad \dots\dots\text{ア, イ, ウ}$$

である。

また, $y = x^2 + px + q$ より, $y' = 2x + p$ であるから, 点 $P(a, a^2 + pa + q)$ における D の接線の方程式は,

$$y - (a^2 + pa + q) = (2a + p)(x - a)$$

すなわち,

$$y = (2a + p)x - a^2 + q \quad \dots\dots④$$

である。

D の P における接線④と, C の P における接線③が一致するとき,

$$\begin{cases} 2a + p = 3a^2 \\ -a^2 + q = -2a^3 \end{cases}$$

すなわち,

$$\begin{cases} p = 3a^2 - 2a \\ q = -2a^3 + a^2 \end{cases} \quad \dots\dots① \quad \dots\dots\text{エ}\sim\text{ク}$$

となる。

(2)

放物線 D が y 軸上の点 $Q(0, b)$ を通るとき,

$$b = q$$

であるから, ①より,

$$b = -2a^3 + a^2 \quad \dots\dots② \quad \dots\dots\text{ケコ, サ}$$

が成り立つ。

ここで, $f(x) = -2x^3 + x^2$ に対して,

$$f'(x) = -6x^2 + 2x = -2x(3x - 1)$$

となるから, $f(x)$ の増減は次のようになる。

x	...	0	...	$\frac{1}{3}$	
$f'(x)$	-	0	+	0	-
$f(x)$	↘	極小	↗	極大	↘

$$f(0) = 0$$

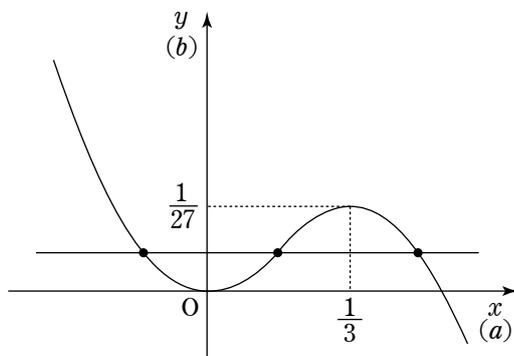
$$f\left(\frac{1}{3}\right) = -2\left(\frac{1}{3}\right)^3 + \left(\frac{1}{3}\right)^2 = \frac{1}{27}$$

すなわち, 関数 $f(x)$ は,

$x = \underline{0}$ で極小値 $\underline{0}$ をとり, ……シ, ス

$x = \underline{\frac{1}{3}}$ で極大値 $\underline{\frac{1}{27}}$ をとる。 ……セ〜ツ

また, $y = f(x)$ のグラフを描くと, 次のようになる。



よって, $0 < b < \frac{1}{27}$ のとき, ②を満たす a の値の個数は $\underline{3}$ である。 ……テ

(3)

$$y = x^2 + px + q = \left(x + \frac{p}{2}\right)^2 - \frac{p^2}{4} + q$$

であるから, 放物線 D の頂点が x 軸上にあるのは,

$$-\frac{p^2}{4} + q = 0$$

すなわち,

$$p^2 = 4q$$

のときである。

よって, このとき, ①より,

$$(3a^2 - 2a)^2 = 4(-2a^3 + a^2)$$

$$9a^4 - 12a^3 + 4a^2 = -8a^3 + 4a^2$$

$$a^3(9a - 4) = 0$$

より,

$$a = \underline{0}, \underline{\frac{4}{9}}$$

……ト, ナ, ニ

である。

ここで, $a = 0$ のとき, ①より,

$$p = q = 0$$

であるから,

$$D_1 : y = x^2$$

また, $a = \frac{4}{9}$ のとき, $y = \left(x + \frac{p}{2}\right)^2$ であり, さらに, ①より,

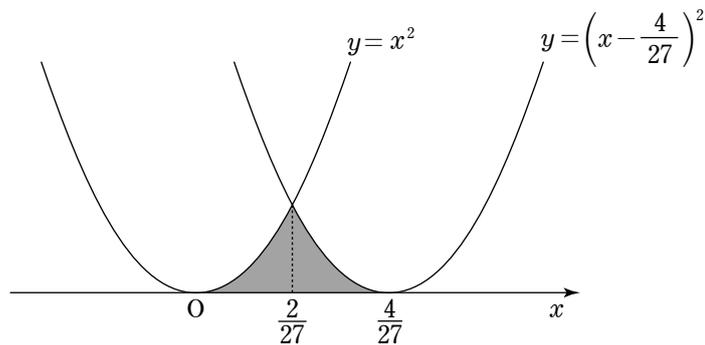
$$p = 3\left(\frac{4}{9}\right)^2 - 2 \cdot \frac{4}{9} = -\frac{8}{27}$$

であるから、

$$D_2: y = \left(x - \frac{4}{27}\right)^2$$

である。

よって、 D_2 は D_1 を x 軸方向に $\frac{4}{27}$ だけ平行移動したものであり、グラフは次のようになる。



D_1 , D_2 と x 軸で囲まれた図形は上の網目部分であるから、求める面積は、

$$\begin{aligned} & \int_0^{\frac{2}{27}} x^2 dx + \int_{\frac{2}{27}}^{\frac{4}{27}} \left(x - \frac{4}{27}\right)^2 dx \\ &= 2 \int_0^{\frac{2}{27}} x^2 dx \quad \left(x = \frac{2}{27} \text{ に関して対称}\right) \\ &= 2 \left[\frac{1}{3} x^3 \right]_0^{\frac{2}{27}} \\ &= 2 \cdot \frac{1}{3} \cdot \left(\frac{2}{3^3}\right)^3 \\ &= \frac{2^4}{3^{10}} \end{aligned}$$

……又、ネノ

である。

第3問

等差数列 $\{a_n\}$ の公差を d とすると,

$$a_2 = a_1 + d = -\frac{7}{3}$$

$$a_5 = a_1 + 4d = -\frac{25}{3}$$

であるから, これを解くと, $a_1 = -\frac{1}{3}$, $d = -2$

すなわち,

$$a_1 = \underline{\underline{-\frac{1}{3}}} \text{ であり, } \{a_n\} \text{ の公差は } \underline{\underline{-2}} \quad \dots\dots \text{ア} \sim \text{オ}$$

である。

したがって,

$$a_n = -\frac{1}{3} + (n-1) \cdot (-2) = \underline{\underline{-2n}} + \underline{\underline{\frac{5}{3}}} \quad \dots\dots \text{カキ, ク, ケ}$$

である。

また, S_n は初項 $a_1 = -\frac{1}{3}$, 末項 $a_n = -2n + \frac{5}{3}$, 項数 n の等差数列の和であるから,

$$S_n = \frac{n}{2} \left\{ -\frac{1}{3} + \left(-2n + \frac{5}{3} \right) \right\} = \underline{\underline{-n^2}} + \underline{\underline{\frac{2}{3}n}} \quad \dots\dots \text{コ, サ, シ}$$

である。

$$\sum_{k=1}^n b_k = \frac{4}{3} b_n + S_n \quad (n=1, 2, 3, \dots\dots) \quad \dots\dots \text{①}$$

①において, $n=1$ のとき,

$$b_1 = \frac{4}{3} b_1 + S_1 = \frac{4}{3} b_1 + a_1 = \frac{4}{3} b_1 - \frac{1}{3}$$

であるから,

$$b_1 = \underline{\underline{1}} \quad \dots\dots \text{ス}$$

である。

①より,

$$\sum_{k=1}^{n+1} b_k = \frac{4}{3} b_{n+1} + S_{n+1} \quad (n=0, 1, 2, \dots\dots)$$

であり, $\sum_{k=1}^{n+1} b_k = \sum_{k=1}^n b_k + b_{n+1}$ であるから,

$$\frac{4}{3} b_{n+1} + S_{n+1} = \left(\frac{4}{3} b_n + S_n \right) + b_{n+1}$$

$$\begin{aligned} b_{n+1} &= 4b_n - 3(S_{n+1} - S_n) \\ &= 4b_n - 3a_{n+1} \end{aligned}$$

$$= 4b_n - 3 \left\{ -2(n+1) + \frac{5}{3} \right\}$$

すなわち,

$$b_{n+1} = 4b_n + 6n + 1 \quad (n=1, 2, 3, \dots) \quad \dots\dots \textcircled{3}$$

……セ, ソ, タ

が成り立つ。

ここで,

$$b_{n+1} + \{\alpha(n+1) + \beta\} = 4 \{b_n + (\alpha n + \beta)\}$$

とおくと,

$$b_{n+1} = 4b_n + 3\alpha n - \alpha + 3\beta$$

であるから,

$$\begin{cases} 3\alpha = 6 \\ -\alpha + 3\beta = 1 \end{cases}$$

これを解くと, $\alpha = 2, \beta = 1$ であるから, $\textcircled{3}$ は

$$b_{n+1} + 2(n+1) + 1 = 4(b_n + 2n + 1) \quad \dots\dots \textcircled{4}$$

……チ, ツ

と変形できる。また,

$$c_n = b_n + 2n + 1 \quad (n=1, 2, 3, \dots) \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

とおくと, $\textcircled{4}$ より,

$$c_{n+1} = 4c_n$$

であるから, $\{c_n\}$ は

$$c_1 = b_1 + 3 = 4, \text{ 公比が } 4 \text{ の等比数列}$$

……テ, ト

である。

よって,

$$c_n = 4 \cdot 4^{n-1} = 4^n$$

であるから, $\textcircled{2}$ により,

$$b_n = c_n - 2n - 1 = 4^n - 2n - 1 \quad (\dots\dots \textcircled{2})$$

……ナ, ニ, ネ

……二

である。

となる。

4 点 O, A, B, C は同一平面上にないから,

$$\begin{cases} 1 - \frac{s}{2} = k \\ s - \frac{1}{2} = \frac{1}{4}k \\ -s = -k \end{cases}$$

これを解くと,

$$s = k = \frac{2}{3}$$

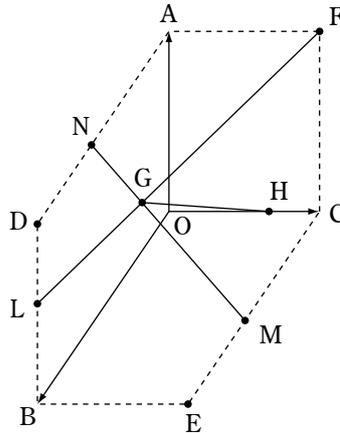
すなわち,

$$s = \frac{2}{3} \text{ のとき, } \underline{\underline{\vec{MP}}} = \frac{2}{3} \underline{\underline{\vec{MN}}}$$

……キ, ク, ケ, コ

となるので, M, N, P は一直線上にある。よって 2 直線 FL, MN は交わることがわかる。

(3)



(2) より, $s = \frac{2}{3}$ のとき, 点 P と点 G は一致し, ④より,

$$\vec{OG} = \frac{2}{3}\vec{a} + \frac{2}{3}\vec{b} + \frac{1}{3}\vec{c}$$

$$= \frac{1}{3}(2\underline{\underline{\vec{a}}} + 2\underline{\underline{\vec{b}}} + \underline{\underline{\vec{c}}})$$

……サ, シ, ス, セ

と表される。

また,

$$\vec{GF} = \vec{OF} - \vec{OG}$$

$$= (\vec{a} + \vec{c}) - \frac{1}{3}(2\underline{\underline{\vec{a}}} + 2\underline{\underline{\vec{b}}} + \underline{\underline{\vec{c}}})$$

$$\begin{aligned}
 &= \frac{1}{3}\vec{a} - \frac{2}{3}\vec{b} + \frac{2}{3}\vec{c} \\
 &= \frac{1}{3}(\vec{a} - 2\vec{b} + 2\vec{c}) \quad \dots\dots\text{ソ}
 \end{aligned}$$

と表される。

ここで、 $\vec{a} \cdot \vec{b} = \vec{b} \cdot \vec{c} = \vec{c} \cdot \vec{a} = 0$ であるから、

$$\begin{aligned}
 |\vec{GF}|^2 &= \frac{1}{9}|\vec{a} - 2\vec{b} + 2\vec{c}|^2 \\
 &= \frac{1}{9}(|\vec{a}|^2 + 4|\vec{b}|^2 + 4|\vec{c}|^2 - 4\vec{a} \cdot \vec{b} - 8\vec{b} \cdot \vec{c} + 4\vec{c} \cdot \vec{a}) \\
 &= \frac{1}{9}\{(\sqrt{5})^2 + 4 \cdot 4^2 + 4(\sqrt{3})^2\} \\
 &= 9
 \end{aligned}$$

よって、

$$|\vec{GF}| = \underline{\underline{3}} \quad \dots\dots\text{タ}$$

となる。

次に、 $\vec{OH} = t\vec{c}$ (t は実数)と表したとき、

$$\begin{aligned}
 \vec{GH} &= \vec{OH} - \vec{OG} \\
 &= t\vec{c} - \frac{1}{3}(2\vec{a} + 2\vec{b} + \vec{c}) \\
 &= -\frac{1}{3}\{2\vec{a} + 2\vec{b} + (1-3t)\vec{c}\}
 \end{aligned}$$

であるから、

$$\begin{aligned}
 \vec{GF} \cdot \vec{GH} &= -\frac{1}{9}(\vec{a} - 2\vec{b} + 2\vec{c}) \cdot \{2\vec{a} + 2\vec{b} + (1-3t)\vec{c}\} \\
 &= -\frac{1}{9}\{2|\vec{a}|^2 - 4|\vec{b}|^2 + 2(1-3t)|\vec{c}|^2\} \\
 &= -\frac{1}{9}\{2(\sqrt{5})^2 - 4 \cdot 4^2 + 2(1-3t)(\sqrt{3})^2\} \\
 &= \underline{\underline{2t}} + \frac{16}{3} \quad \dots\dots\text{①} \quad \dots\dots\text{チ, ツテ, ト}
 \end{aligned}$$

と表される。

また、

$$\vec{GM} \cdot \vec{GH} = 2t + \frac{10}{3} \quad \dots\dots\text{②}$$

と表される。

さらに、 $\angle FGH = \angle MGH$ のとき、 $\cos \angle FGH = \cos \angle MGH$ であるから、

$$\vec{GF} \cdot \vec{GH} = |\vec{GF}| |\vec{GH}| \cos \angle FGH = 3 |\vec{GH}| \cos \angle FGH$$

$$\vec{GM} \cdot \vec{GH} = |\vec{GM}| |\vec{GH}| \cos \angle MGH = 2 |\vec{GH}| \cos \angle FGH$$

より、

$$\vec{GF} \cdot \vec{GH} = \frac{3}{2} \vec{GM} \cdot \vec{GH} \quad \dots\dots \textcircled{3} \quad \dots\dots \text{ナ, ニ}$$

が成り立つ。

①, ②, ③から、

$$2t + \frac{16}{3} = \frac{3}{2} \left(2t + \frac{10}{3} \right)$$

よって、これを解くと、

$$t = \frac{1}{3} \quad \dots\dots \text{ヌ, ネ}$$

である。